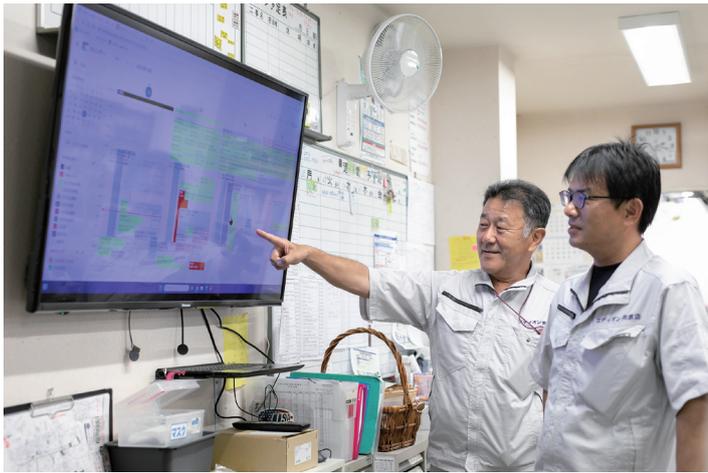


こんな事業です！



エディオンのフランチャイズとして、家電などを販売する町の電気屋さん。創業当初からそれだけにとどまらず、リフォーム、鳥獣対策用の柵の設置など、広がるニーズに応じて新しいサービスを提供し続けている。決して「できない」とは言わない、地域の人々のライフラインを担う頼れる存在。

モニターには、誰がどの現場にいついるのかが分かるスケジュールが映し出されています。情報を共有できるようになり、業務がスムーズになりました



一人ひとり向き合い
大切にすることも継承

一方、正雄さんも決算書の見方を学ぶセミナーに参加したり、HPをリニューアルしたりしながら着々と準備を進めてきました。こうして、2020年無事に事業を継承。現在は慎二さんが正雄さんをサポートしながら、以前と変わらぬメンバーで業務にあたっています。正雄さんは、事業承継する前から法人会や商工会青年部に所

属したり、消防団に入ったり、様々な活動を通して、事業を守る責任

感みたいなのが生まれていました。心の準備がしっかりとできて

いたので、安心して引き継ぐことができました」と話します。

これからの目標は、これまで先代が築き上げてきた信頼をこれから先も

ずっと守っていくこと。人口が減り、高齢化が進む中、量販店との差別化を図るにはこの道しかない

と考えています。「時代の変化とも

にも変わっていく

ニーズにも応える

ためには、法改正

の勉強や新しい資

格の取得が不可欠

依頼があれば、新

しいことにも積極

的にチャレンジし

ていきたい」と前

柄、急な案件が多

く、とにかく一日

が目まぐるしく過

ぎていく正雄さん

それでも、一人ひ

とりのお客さまと向き合うことを

大切にしたい」と創業以来大切に

してきた想いまでも、しっかりと

受け継いでいました。

**守るもの、進化するもの
その両方を大切に**

正雄さんが代表取締役になって、新たに作り組んだことがあります。それは社内業務のDX（デジタル

トランスフォーメーション）化。D

Xとは、アナログ業務をデジタル

技術を使って効率化、スマート化

していくというもの。正雄さんは

社員のスケジュールが共有できる

システムを導入し、現場の場所や

進捗を確認できるようにしました。

状況の把握がすぐにでき、業務の

効率化に繋がっています。今後も

さらなるDX化を進めていく予定。

こうした取り組みを慎二さんも頼

もしく感じていきます。「お客さまの

ニーズに応えるために、私たちが

アップデートしていく必要があります。

移り変わるニーズに敏感に

反応しながら、高齢者の方、若いフ

アミリー層、どんな方にも頼られ

る電気屋をこれからも目指してい

きます」と正雄さんは話しました。



託した人 佐々木 慎二さん

Profile

安芸高田市出身。呉工業高等専門学校電気科に進学し、広島大学の工学部に編入。卒業後は広島FMに就職し3年後、家業の佐々木電機に就職。平成9年に社長に就任し、会社を任せられる。